

財政状況の公表（平成19年5月公表 平成18年度下半期の財政状況）

平成18年度は、前年度に引き続き、人件費の削減や施設管理の見直しなど行財政改革を進め、歳出の削減に努めました。

その一方で地域の安全・安心対策をすすめるほか、「新しい中野をつくる10か年計画」に基づき、区民公益活動の推進、休日保育など子育て支援の充実、住宅の耐震診断の助成などに取り組みました。

金額は、表示単位未満で四捨五入しています。このため、収入率、執行率の数値は、表示されている数値から算出した値とは一致しないことがあります。

各会計の予算執行状況

平成18年度下半期の予算の執行状況は、平成19年3月31日現在、次のとおりです。なお、出納整理期間（4月1日～5月31日）の収入済額と支出済額が反映されていないため、最終的な決算額とは異なります。

各会計の予算執行状況

一般会計および各特別会計の執行状況は次のとおりです。

会計	予算現額(億円)	収入済額(億円)	収入率(%)	支出済額(億円)	執行率(%)
一般会計	953	902	94.6	796	83.5
用地特別会計	900万	800万	91.3	800万	91.3
国民健康保険事業特別会計	297	272	91.7	268	90.4
老人保健医療特別会計	233	217	93.2	212	90.9
介護保険特別会計	153	145	94.4	135	88.3

用地特別会計のみ100万円まで表示

一般会計予算の執行状況

3月31日現在の執行状況は次のとおりです。

一般会計予算執行状況の歳入内訳			
歳入	予算現額(億円)	収入済額(億円)	収入率(%)
特別区税	289	259	89.6
特別区交付金	328	332	101.2
地方消費税交付金・利子割交付金等	88	88	100.4
負担金、使用料及び手数料	26	25	93.8
国・都支出金	155	134	86.9
諸収入	11	9	78.7
特別区債	0	0	-
その他	56	55	98.5
歳入合計	953	902	94.6

一般会計予算執行状況の歳出内訳			
歳出	予算現額(億円)	支出済額(億円)	執行率(%)
議会費	8	8	96.9
総務費	93	62	66.4
区民生活費	83	77	93.3
子ども家庭費	141	136	96.7
保健福祉費	303	279	92.2
都市整備費	74	54	73.3
教育費	90	82	90.7
公債費	55	54	98.1
その他	106	44	41.2
歳出合計	953	796	83.5

補正予算のあらまし（平成18年度下半期）

当初予算の成立後、施策の変更が必要となったり、社会経済状況が変わったりした場合に、追加や修正をするための予算が補正予算です。

平成18年度下半期には、次のとおり補正を行いました。

12月（平成18年第4回中野区議会定例会）

一般会計

1億4,047万1千円の追加補正を行いました。主な内容は、福祉用具の購入費助成や不燃化促進事業の増額など

2月（平成19年第1回中野区議会定例会）

一般会計

60億4,550万円の追加補正を行いました。主な内容は生活保護費の増額、学校再編やまちづくりに備えた基金への積み立てなど

国民健康保険事業特別会計

17億9,538万1千円の減額補正を行いました。主な内容は、療養給付費の減額など

老人保健医療特別会計

4億9,880万円の追加補正を行いました。主な内容は、老人医療給付費の増額など

介護保険特別会計

8億7,572万5千円の減額補正を行いました。主な内容は、保険給付費の減額など

区債・一時借入金・基金・区の財産の状況

区債の状況

区債は、土地の買入れや公共施設の建設など、将来にわたり区の財産となる経費の財源として発行するもので、いわゆる借金のことです。

発行にあたっては将来の財政負担が過大とならないよう注意が必要です。

3月31日現在の借入現在高は、470億円で、昨年9月末に比べ28億円減少しました。

区債の種類(発行目的)	3月末現在高(億円)	9月末借入額(億円)
総務債(土地の取得、庁舎の整備などに)	66	70
民生債(社会福祉施設の建設などに)	101	105
土木債(橋りょう・公園の整備などに)	57	62
教育債(小中学校や社会教育施設の整備などに)	51	58
減税補てん債(住民税減税に伴う減収分の補てんに)	135	140
その他(区民施設の建設、まちづくりなどに)	60	63
合計	470	498

一時借入金

区民税などの収入時期と経費の支出時期のずれなどから、一時的に支払いに必要な資金が不足することがあります。このとき、予定されている収入ですみやかに返済することを条件に、金融機関などから借り入れる資金を一時借入金といいます。

平成18年度下半期には、一時借入金はありませんでした。

基金

基金には、年度間の財政調整を図るための財政調整基金、将来の特別区債の償還に備えるための減債基金のほか、特定の目的のために積み立てるもの、その利子で事業を行うものなどがあります。

条例により設置されている、いわゆる区の貯金です。

基金の種類、目的と3月末の現在高は次のとおりです。昨年9月末の残高は227億2,000万円で、600万円増加しました。

- ・ 財政調整基金 122億9,300万円（年度間の財源の調整）
- ・ 減債基金 43億6,500万円（特別区債の償還財源確保）
- ・ 中野刑務所跡地防災公園建設基金 9億6,600万円（中野刑務所跡地の防災公園建設）
- ・ 社会福祉施設整備基金 7億3,700万円（社会福祉施設の整備・建設）
- ・ 義務教育施設整備基金 24億6,700円（義務教育施設の整備・建設）
- ・ 平和基金 1億100万円（平和事業に要する財源確保）
- ・ 災害対策基金 3億500万円（大規模災害時における被災者の救援等）
- ・ 区営住宅整備基金 5億1,400万円（区営住宅の整備）
- ・ 介護給付費準備基金 6億7,500万円（介護保険給付費の次年度以降の財源確保）
- ・ 道路・公園整備基金 2億円(道路・公園の整備に要する財源確保)
- ・ まちづくり基金 1億円(総合的なまちづくりに要する財源確保)
- ・ 区民公益活動推進基金 300万円(区民公益活動に必要な資金の助成の財源確保)

合計 227億2,600万円

区の財産

いろいろな事業を実施していくためには、道路、公園などの事業用地や庁舎などが必要です。区ではこうした土地建物のほか物品などの財産を保有しています。これらの財産については、常にその適正な管理に努めています。なお、50万円以上の重要な物品については、特別整理備品として管理しています。

3月31日現在の保有高は、次のとおりです。

財産の種類	3月31日現在	前年9月末
土地	110万3,400.00平方メートル	110万3,690.47平方メートル
建物	50万1,398.57平方メートル	50万1,306.32平方メートル
備品(50万円以上)	2,352点	2,286点

区民のみなさんの区税負担

みなさんに納めていただく特別区民税の総額は、270億5,654万円です（3月31日現在）。区民1人あたり、1世帯あたりの負担額は次のとおりとなります。

平成19年の税負担が増加したのは、雇用環境の回復のほか、高齢者控除の廃止、定率減税の引下げなど税制改正によるものです。

- ・ 1人あたり 87,329円(昨年3月末は80,176円)
- ・ 1世帯あたり 150,216円(昨年3月末は139,113円)

今年4月1日現在 人口 309,824人、世帯 180,118世帯で算出(外国人登録者数・世帯含む)